

船舶事故調査報告書

平成24年7月19日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成23年11月1日 10時00分ごろ～15時00分ごろの間）
発生場所	兵庫県明石市南二見 ^{みなみふたみ} 南方沖 明石市所在の東播磨港二見南防波堤灯台から真方位236° 2.5海里付近 （概位 北緯34° 40.0′ 東経134° 50.6′）
事故調査の経過	平成23年11月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{えびす} 戒丸 2.0トン HG3-25989（漁船登録番号）、個人所有 8.61m (Lr) × 2.30m × 0.83m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数70、昭和63年2月27日
乗組員等に関する情報	船長 男性 79歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和49年12月19日 免許証交付日 平成21年6月25日 （平成26年9月16日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、たこつぼ漁を行うため、明石市東二見の船だまりを出航し、平成23年11月1日10時00分ごろ南二見南方沖ののり養殖施設南西端の標識灯にロープで係留しているところを僚船により目撃された。 船長の家族は、昼を過ぎても本船が帰航しないので、友人の漁師に連絡した。 連絡を受けた友人の漁師は、船長に電話をしてもつながらず、おかしいと思い、本船の様子を見に行ったが見付からず、再度、捜索していたところ、15時00分ごろ、僚船により目撃された場所付近において、無人で漂流している本船を発見した。 船長は、漁業協同組合員及び通報を受けた巡視艇によって捜索が行われたが発見されず、11月6日07時45分ごろ、地元の漁業者により、本船発見場所の東方1,000m付近ののり養殖施設内において発見されたが、溺死と検案された。

気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 1</p> <p>海象：海上 平穏</p>	
その他の事項	<p>本船は、発見時、機関が中立運転状態で遠隔操縦に切り替えられており、右舷船首ローラー付近にリモコンが置かれていた。</p> <p>本船は、船内に漁獲物があり、たこつぼは全て海中に入れられていた。</p> <p>本船には、衝突痕等は認められなかった。</p> <p>船長は、船内に救命胴衣を備え付けていたが、発見時、救命胴衣は着用していなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、10時00分ごろ南二見南方沖において僚船により目撃されたのち、15時00分ごろ、目撃された場所付近において、機関が中立運転とされ、無人で漂流中のところを発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、南二見南方沖において、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命胴衣を着用すること。 	